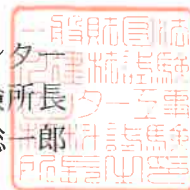




受付番号	工試第U-2009080435-202402008156
受付日	2024年 2月20日
発行日	2024年 6月17日

株式会社 杉浦土木 殿

一般財団法人 建材試験センター  
工事材料試験所 所長  
芭蕉宮 総一郎

浦和試験室

〒338-0822 埼玉県さいたま市桜区  
中島2丁目12番8号  
電話番号 048(858)2790  
試験監督者 藤巻敏之

## 1. 試料 (依頼者提出の資料による)

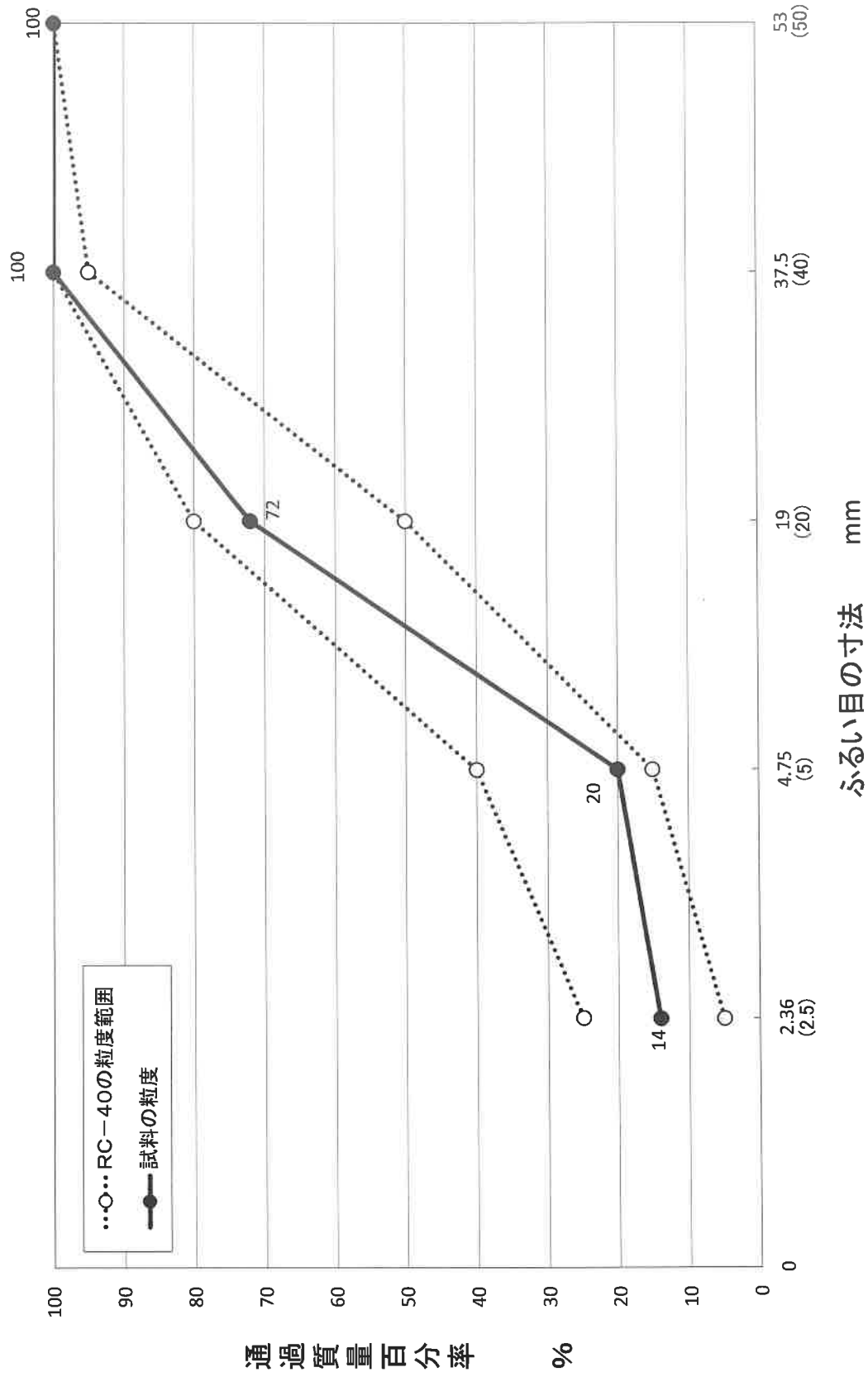
種類	RC-40
製造工場	杉浦リサイクルセンター
採取日	2024年 2月16日
用途	路盤材等

## 2. 試験内容

試験方法	JIS A 5001 道路用碎石 5.2 粒度試験 JIS A 5001 道路用碎石 5.3 絶乾密度及び吸水率試験 JIS A 5001 道路用碎石 5.4 すりへり減量試験 JIS A 5001 道路用碎石 5.5 塑性指数 アスファルトコンクリート混入率は、再生処理材を5mmふるいでふるい分け、残留した試料からアスファルトコンクリートを目視によって選別し、質量比で示した。 (公社)日本道路協会 “舗装調査・試験法便覧” E001 ①修正CBR試験方法
試験期間	2024年 2月20日～ 6月 3日
試験場所	浦和試験室
試験担当者	塩崎洋一・日詰康志

## 3. 試験結果

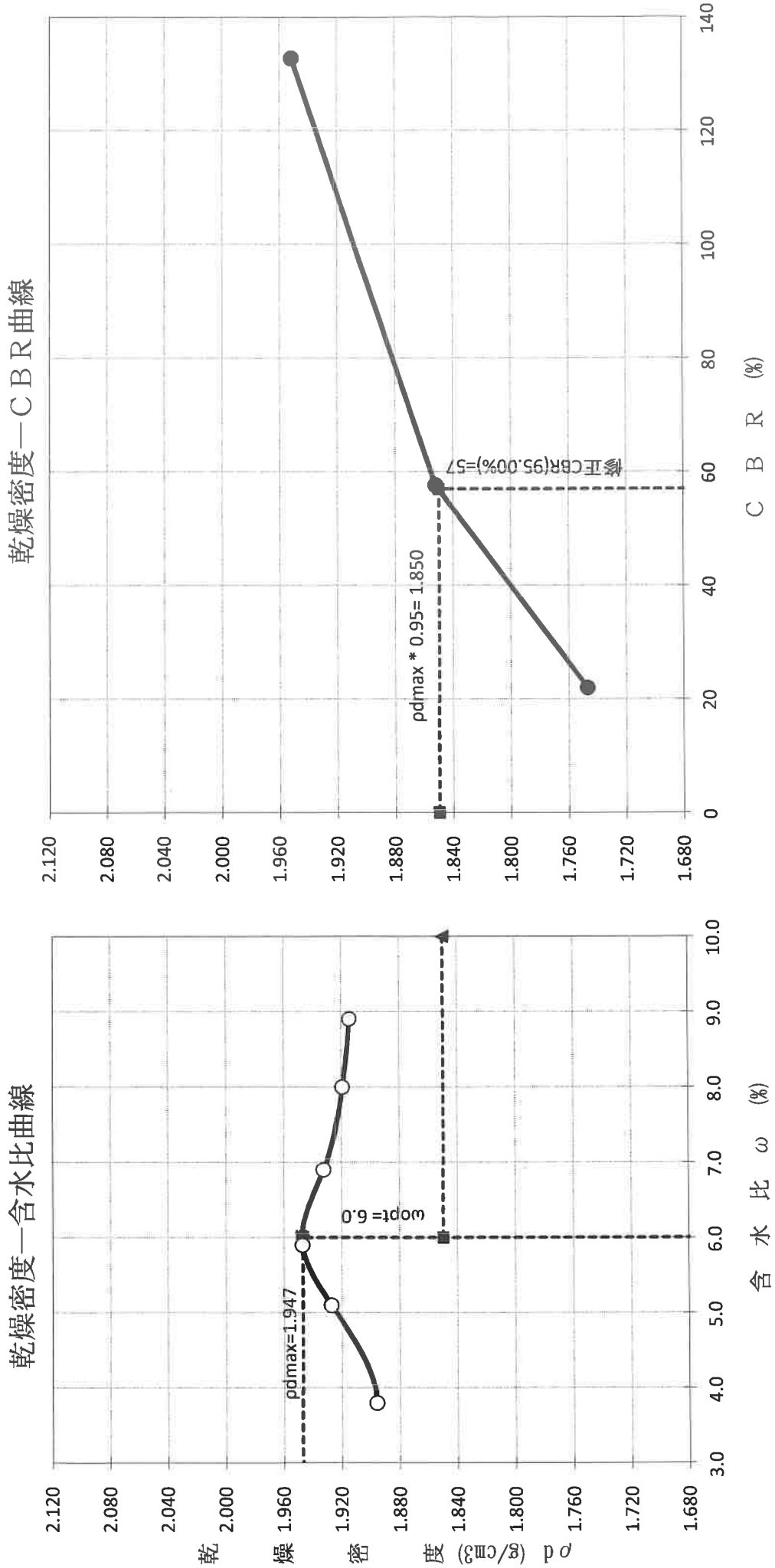
粒度試験					
※1	通過質量百分率 %				
ふるい目の寸法 mm	53 (50)	37.5 (40)	19 (20)	4.75 (5)	2.36 (2.5)
測定値	100	100	72	20	14
※2 規格範囲	100	95~100	50~80	15~40	5~25
備考	※1 ()内は各ふるい目の公称寸法 ※2 RC-40の規格粒度範囲 粒度試験結果(粒度曲線)を図-1に示す。				



図一 1 粒度試験結果

試 験 項 目		1	2	平 均
密 度 $g/cm^3$	表 乾	2. 5 1	2. 5 1	2. 5 1
	絶 乾	2. 4 0	2. 4 0	2. 4 0
吸 水 率	%	4. 7 0	4. 5 9	4. 6 5
す り へ り 減 量	%	2 3. 8		
塑 性 指 数 (P. I)	液性限界 ※1 %	NP		
	塑性限界 %	NP		
	塑性指数 ※2	NP		
アスファルトコンクリート混入率	%	3. 0		
備 考	※1 試験結果においてその性状が認められない場合は、NP (non-plastic) とする。 ※2 液性限界若しくは塑性限界が求められないとき、又は液性限界と塑性限界に有意な差がないときは、NP とする。			

修正 C B R 試験											
共通項目	試料の準備方法					乾燥法					
	試料の使用方法					非繰返し法					
最適含水比 測定試験 92回/層 (3層)	平均含水比										
	%	3.8	5.1	5.9	6.9	8.0	8.9				
	乾燥密度										
	g/cm <sup>3</sup>	1.896	1.927	1.947	1.932	1.919	1.914				
	最適含水比 %	6.0									
最大乾燥密度 g/cm <sup>3</sup>	1.947										
C B R 試験	突固め回数	番号	乾燥密度	4日水浸後の		C B R 値					
			g/cm <sup>3</sup>	吸水膨張比		(2.5mm貫入時)					
				%		%					
	92回/層(3層)	1		1.936	0.00		153				
		2		1.970	0.00		127				
		3		1.948	0.00		118				
		平均		1.951	0.00		133				
	42回/層(3層)	1		1.847	0.00		73				
		2		1.859	0.00		53				
		3		1.850	0.00		47				
		平均		1.852	0.00		58				
	17回/層(3層)	1		1.745	-0.01		25				
		2		1.758	0.00		20				
		3		1.738	0.00		21				
平均			1.747	0.00		22					
修正 C B R % ※			57								
備考	※ 最大乾燥密度の95%の時の値。 乾燥密度-含水比曲線及び乾燥密度-CBR曲線を図-2に示す。										



圖—2 乾燥密度—含水比曲線及修正CBR(95.00%)=57

再生路盤材 規格表

【本表は簡略的に規格値を記したものであり、詳細については必ず各仕様書でご確認下さい。】

名称		再生クラッシュラン(再生碎石)			再生粒度調整碎石			再生砂					
主な用途		下層路盤材			上層路盤材			埋戻し用					
呼び名 (粒度範囲)		RC-40 (40~0)	RC-30 (30~0)	RC-20 (20~0)	RM-40 (40~0)	RM-30 (30~0)	RM-25 ※3 (25~0)	RC-10 (東京都)	RC-10 (神奈川県)	— (埼玉県)			
通過質量百分率 (%)	53 mm (50)	100			100								
	37.5 mm (40)	95~100	100		95~100	100							
	31.5 mm (30)		95~100			95~100	100						
	26.5 mm (25)			100			95~100						
	19 mm (20)	50~80	55~85	95~100	60~90	60~90							
	13.2 mm (13)			60~90			55~85		100				
	9.5 mm (10)								90~100				
	4.75 mm (5)	15~40	15~45	20~50	30~65				50~90				
	2.36 mm (2.5)	5~25	5~30	10~35	20~50				30~70				
	1.18 mm (1.2)	/			/				20~50				
	600 μm (0.6)								10~35				
	425 μm (0.4)							10~30				5~30	
	300 μm (0.3)										3~25		
150 μm (0.15)										0~15			
75 μm (0.075)								2~10			50未満	0~10	50未満
表乾比重		/			/			/					
すりへり減量 (%)											東:40以下	東を除く:50以下	
塑性指数PI		6以下	東を除く:6以下		4以下	東を除く:4以下		(泥を含まず)	神:6以下	(泥を含まず)			
アスファルトコンクリート混入率 (%)		東:50未満		東:30未満			/						
修正CBR (%)		東:40以上		90以上※2			東を除く:90以上※2		神:30以上				
		国埼神要領千舗さ:30以上※1											

※1 アスファルトコンクリート再生骨材を含まないものは20以上(神要領を除く)  
 ※2 アスファルトコンクリート再生骨材を含まないものは80以上(東, 神要領を除く)  
 ※3 東京都建設局 “土木材料仕様書”には項目なし

国:	国土交通省 関東地方整備局 “土木工事共通仕様書” 第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 国土交通省 関東地方整備局 “土木工事共通仕様書” 第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工	令和 6年 3月
東:	東京都建設局 “土木材料仕様書” 第1章石材	令和 5年 4月
埼:	埼玉県土木工事共通仕様書 第2仕様書編 第3編土木工事共通編 第1章一般施工 第6節一般舗装工 埼玉県土木工事共通仕様書 第6材料規格編 第12編土木材料規格 第1章石材等 第2章骨材	令和 6年 4月 令和 3年 7月
神:	神奈川県 県土整備局 コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領 神奈川県 “土木工事共通仕様書” 第2編材料編 第2章土木工事材料 神奈川県 “土木工事共通仕様書” 第3編土木工事共通編 第2章一般施工	令和 5年 4月
千:	千葉県 “土木工事共通仕様書” 第2編材料編 第2章土木工事材料 第3節骨材 千葉県 “土木工事共通仕様書” 第3編土木工事共通編 第6節一般舗装工	令和 5年10月
舗:	(社)日本道路協会 “舗装再生便覧” 第2章プラント再生舗装工法 2-4再生舗装用材料	令和 6年 3月
さ:	さいたま市 “さいたま市土木工事実務要覧” 第2仕様書編 第3編土木工事共通編 第2章一般施工 第6節一般舗装工 さいたま市 “さいたま市土木工事実務要覧” 第5材料編 第1編土木材料規格 第1章石材等 第2章骨材	令和 5年 4月

(2024年5月確認)

【本表は規格値を簡略的に記したものであり、詳細については必ず各仕様書でご確認下さい。】